

議会だより



かみむらの

第 3 号

1994. 7. 25

発行 上富良野町議会

編集 議会広報特別委員会



夏盛り

“観光客にささえられているラベンダー産業”

(日の出ラベンダー園・左下\日新地区 白井一司さんのラベンダー刈り取り作業)

主な記事

- 十勝岳の整備計画予算を盛り込んだ補正予算可決…………… 2ページ
- 総額約2億1千万の武道館の建設工事可決…………… 4ページ
- 開基100年事業など6人の議員が一般質問を行う…………… 5~13ページ

開基100年 十勝岳 に自然と憩いの森



「吹上地区自然と憩いの森」完成予想図

3億7千万の一般会計補正予算を賛成多数で可決

富良野川改修・江花通りの用地費に約1億3千万円

町は開基100年の記念施設として、十勝岳の吹上地区に本年度

から平成8年度までに総額約8億2千万円で保養施設などを建設し、「自然と憩いの森」とすることを発表しました。

【審議の経過】

ではないかななどの質疑が行われました。

6月22日の一般会計補正予算の提案の中で、十勝岳の整備計画に600万円を計上した理由について、町側の説明は吹上地域の優れた立地特性を活かし、白銀荘周辺を吹上地区自然と憩いの森」として整備するとのものです。

事業の内容は、平成6年度に多目的露天風呂、平成7年度に保養センターを建設し、平成8年度には白銀荘の立て替え計画を変更し、現在の白銀荘に替わる簡易宿泊施設を保養センターにつなげて新たに建設するものです。

この計画に対し、開基100年のハード事業として意思表示を明確にするのか、また、財政問題や他に優先する事業等があるの

これに対し町長は、平成9年に町は開基100年を迎えることから、吹上地区の整備が100年事業にふさわしく、積極的に取り組むと答えました。吹上地区は、昨年度に広場整備を行い、今回の計画変更と合わせて4か年で約10億円（一部補助金を含む）の財政投資となります。

このほかの質疑では、補助金の見直しが問われ、町は行政改革の推進組織の中で具体的な検討を図ると答えました。

質疑の終了後に原案の採決が行われ、賛成、反対の立場でそれぞれに討論を行った後、賛成多数で総額約3億7千万の補正予算案が可決されました。

一般会計予算の補正の主な内容（歳出）

総務費	76万	交通安全対策 36万・魚の住む環境づくり補助 30万 その他
民生費	350万	施設修理等 220万・臨時栄養士 127万 その他
衛生費	1,112万	汚泥処理 160万・配水管移設 800万 その他
農林業費	2,886万	畑地かんがい負担 727万・農道整備等 2,155万 その他
商工費	2,917万	企業誘致 2,000万・十勝岳整備実施設計 660万・観光事業負担 215万 その他
土木費	2億8,111万	道路改良 7,147万・道路、河川用地取得業務 1億3,462万・河川改修 7,720万 その他
教育費	246万	清富小学校外溝 195万 その他

条例を 可決

B & G 海洋セン ター条例を可決

B & G財団が町に海洋センターのプールを設置してから3年が経過し、利用人員も年間約2万人もの利用があることから、町が無償で譲り受け、条例を制定したものです。



町内で初めての上屋付きとなったB & Gプール

専決処分を 承認しました

町が平成6年3月31日、平成5年度町の一般会計補正予算の専決処分したことを、議会が承認しました。

これは、3月の年度末に各事業等が完了したことや国からの交付税などが確定したので、町の基金を増やすなど、総額約1億8千400万円を予算補正したものです。

露天風呂の 工事を可決

5千万円以上の工事請負契約は、議会の議決が必要であることから、今回、吹上地区に多目的露天風呂を設置するための議会の議決を行いました。

【内容】工期と請負業者等
契約の日から12月20日まで
㈱アラタ工業・山田植木
特定共同企業体
契約金額 1億4千400万円



多目的露天風呂の完成予想図

国民健康保険税条例の一部改正を賛成多数で可決
低所得者の負担軽減のため均等割額、平等割額の4割軽減の判定基準として、世帯主を除く被保険者1人あたりの加算額を「23万」から「23万5千円」に引上げ、軽減世帯の増加を図るものです。

リゾート法の固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正を可決
リゾート法の重点整備地区に対する不均一課税の期間を変更するものです。

6月補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	3億7,795万1	97億2,095万1
国民健康保険特別会計	8,506万3	9億3,818万4
老人保健特別会計	1,640万9	12億1,692万9
公共下水道事業特別会計	1,666万3	8億281万1
簡易水道事業特別会計	568万5	5,516万8
水道事業会計 (資本的収入)	1,397万2	9,032万1
水道事業会計 (資本的支出)	1,914万	1億2,969万5

主な補正内容は
(一般会計予算)
右の図を



可決
した

各会計予算

議会

報告

◇町税条例一部改正の報告

地方税法の改正に伴い、町税条例の一部を改正する専決処分
の報告があり、個人町民税と法人の均等割と非課税限度額を引き上げることと平成6年度分の個人町民税の所得割の特別減税を実施することが主な内容です。

◇町内行政調査の報告

5月17日、全議員で町内の公
共施設等を視察した結果につい
て報告がありました。



野菜等苗生産施設を視察する町議会

◇法人の経営状況の報告

町が出資する次の法人の経営
状況について報告がありました。

- 1 上富良野町土地開発公社
- 2 上富良野振興公社
- 3 十勝岳観光開発公社

◇一般会計の繰越明許費の報告

平成5年度末に、国の経済対
策（第3次）による農道整備と
公営住宅建設事業の実施に伴い
本年度に1億7千90万円を繰越
した内容のものです。



平成5年度から始まった公営住宅（全体構想図）

要望意見を

取り上げました

各団体等から出されていた次
の要望を国などに意見書として
提出しました。

- 1 北海道開発庁及び北海道東
北開発公庫の存置に関する要
望意見
- 2 北海道農村・農業の活性化
に関する要望意見
- 3 平成6年産生産者米価引上
げ及び新たな水田農業政策の
確立に関する要望意見

臨時

議会

武道館建設 工事を議決

7月8日、臨時町議会におい
て武道館の建設工事請負契約の
議決を行いました。

武道館は、町の総合体育館の
横に建設するもので、柔道場、
剣道場、弓道場の3つからなっ
ています。

全体の建設費用は2億1千496
万円でその内、議会の議決した
ものは次のとおりです。

【工期と請負業者等】

契約の日から12月9日まで

(株)廣野・健名工建㈱

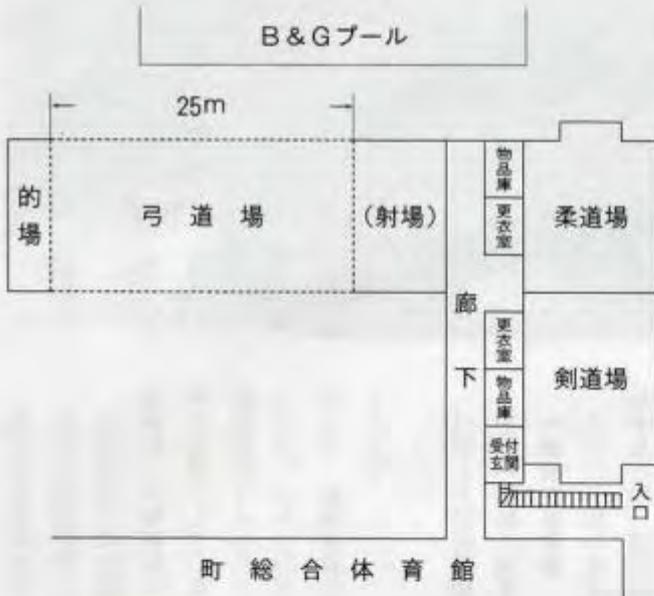
特定共同企業体

契約金額1億7千304万円

柔道場 105畳 (183㎡)

剣道場 105畳 (183㎡)

弓道場 25m 5射用



武道館平面図

議会のことは

あなこれ

『採決』とは

採決とは、議会の会議におい
て、各議員が意志決定手続きと
して賛成又は反対の意思表示の
表決をとることを採決といいま
す。

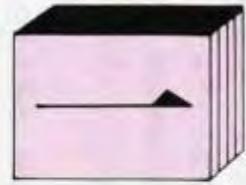
採決の結果が議決で、議決は
合議体としての意志をいうもの
であり、これには可決と否決と
があります。



流雪溝のイメージ予想図

流雪溝、基地対策、開基100年
事業、青少年とスポーツ問題

Q & A



Q & A



松井 議員

流雪溝の計画促進について

問 昨年9月定例会において、流雪溝の質問に対し町長は、「流雪溝の設置は、課題も多いので、十分研究を図りながら国、道に對しても協力を求めていきたい」と答弁されたが、その経過と結果についてお聞かせ願いたい。
町長 先進地自治体に助役をはじめ関係課長を調査研究に当たらせましたが、今後も前向きに進めるとともに商店街活性化対策の一つとしても調査研究を続けて参りたい。
問題点としては、水利権の問題、円滑な運営を行うための投

雪時における町民参加や、時間帯の厳守など、地域住民の協力が必要であるという調査報告を受けているところである。

基地対策について

問 町の経済基盤は、農畜産業、商工業、自衛隊の三本柱に支えられていると言われていますが将来とも基地との共存は町づくりの基本であり、相互協調の中で施策を進めるべきであると思いが町長の基本的考えをお聞かせ願いたい。
次に、自衛隊との共存を進めるには第一に基地の安定使用が図られるよう、町も積極的な協力が大切であるとともに、町民の深い理解が不可欠であると考えるので、「基地協議会」又は自衛隊協力会の中に専門の連絡調整のできる組織を設け、自衛隊との関係を更に協調できるように努めるべきと考えますが、町長の考えをたずねたい。

町長 我が町の基地対策の基本的な考え方と自衛隊との協力的な制については、同感であり、歴代駐屯地司令等の努力により、全国有数の駐屯地として発展充実している姿を拝見し町民等し

く喜びとするところである。
協調体制であるが、今までどおり自衛隊協力会などの連がりの中で、自衛隊員の激励等、一層自衛隊員と地域住民との親睦を深めて参りたいと考えている。

開基100年記念事業について

問 開基100年という意義ある節目を迎えるにあたり計画案を庁内プロジェクトで検討中であるとのことでしたので、その後どのように進んでいるか、また町民各層による「計画推進100人委員会」の構想等について説明を願いたい。
次に町民からのアンケート調査についてであります。この記念事業は、その計画立案の段階から幅広く町民参加のもとに事業を展開して、全戸からアンケート等による参加を求め、町民及び町に縁のある人々が21世紀に向けての開拓に強い関心を持ってもらうことが大切かと思うので町長の考えを伺いたい。

次に記念事業に対する町民参加についてであるが、総合計画では、記念式典、記念出版、記念イベント、記念施設の4項目

があげられておりますが、私はこのほかに住民運動のような手作りの事業を考えてはどうかかと思えます。財政難の折、記念施設に多額の投資をすることが困難な状況にあると聞いておりますが、100年の歴史を振り返りながら新しい希望に満ちた町づくりのステップとして、「町民による町民のための記念事業」をどのように考えているのか伺いたい。

町長 記念事業推進にあたっては、昨年設置した庁内係長職を中心とする20名のプロジェクト委員会において4つの部会を設けるなど事業計画の素案づくりに向けて検討している段階であり、更に具体的に検討していくよう指示している。

また、計画推進100人委員会を設けて、本年度中に、どの程度の財政規模で100年記念事業ができるのかを見極め、原案を策定したい。

第二点目のアンケート調査については、記念事業計画立案に当たって、多くの町民の皆さんから意見を聞き、シンボルマークの募集や記念イベント、記念

諸事業のアンケート調査など、広報、広聴活動を通して積極的に展開していきたい。

また、町外で活躍しておられる出身者の方々にも、札幌かみふらの会、東京ふらの会などとの交流を通してふるさと上富良野への提言を受け、町づくりの参考としたい。

第三点目の町民参加による手づくりの事業については同感である。

私の考えの一つとして地域振興施策で進めている十勝岳吹上地区自然と憩いの森整備事業に合わせて、同地区を100年の森と位置づけし、町民の皆さんのご協力を得て記念植樹などを行ってはどうかという考えを持っているので具体的な姿に行きたい。

青少年の健全育成とスポーツの振興について

問 青少年の非行化は年々増加する傾向にあると報道しているが、当町においても連合PTAや、各学校のPTAが中心となり、増え続ける青少年の非行を防止するため積極的にスポーツをとり入れ、子供達の健全育成

を進めようとの気運が高まりつつあります。

しかし、子供達のスポーツ少年団においては、指導者と予算が少ないために、団の運営に苦慮していると聞いている。このように青少年の健全育成に大きな役割を果たしているスポーツ少年団がボランティア活動による指導者の負担に大きく依存している現状を考えると少なからず財政的支援をして、指導者の自己負担を軽減するよう努める必要があると思うが、今後の行政による財政支援及び育成強化対策について教育長の考えを伺いたい。

教育長 現在町には15団体、351名のスポーツ少年団があり、町体育協会傘下のもとに少年団本部を設置し、指導運営などの協力を得ながら、それぞれの団活動をを行っている。また、指導者については、教職員、町職員、自衛隊員、一般の方々が、ボランティアとして活動をいただいておりますが、他の町村との交流試合等に指導者の自家用車使用や、燃料費の負担をしております。15のスポーツ少年団にはそ



動き出した開基100年事業（第1回幹事会）

れぞれ育成会が組織されており、それぞれ登録料4千500円を含め、1名当たり多い団で1万2千円から5千500円の範囲で会費を定め、指導者と協議をしながら自主的活動をしています。

また、町の補助金として育成補助として70万円、指導者謝金として42万円、活動バス借上補助として15万円の計127万円の助成と、必要によっては町営バスの利用などの援助を行っておりますが今後においては、指導者の育成と確保が課題であり、体育協会との連携をとりながら少

問 町のスポーツ施設の有効活用について伺いたい。

富原 テニスコートの夜間照明は、テニス連盟の役員から夜間照明の不備が指摘されています。実際に現場を調査しましたが、薄明かりの中での練習をしているので、早急に照明施設を増やして、コートを有効に活用できるように整備すべきと思が、施設整備の計画はどうなっているか伺いたい。

次にスケートリンクの活用で
あるが、昨シーズン島津球場に
造成されたスケートリンクは、
利用者が少なく有効に活用され
ていないように見受けられたが
もっと有効に活用するための指
導者の養成、初心者に対する講
習会、各学校における研修会、
有名人の模範演技など有効活用
への取組みと対策が必要と思う
が教育長の見解を伺いたい。

教育長 テニススコートの増設と
夜間照明は、防衛施設庁の調整
交付金事業で平成元年に実施し、
平成二年度から利用開始したが、
その後テニス愛好人口が増加し
たことから、増設の要望も聞い
ているので今後の体育施設全体
計画の中で検討する。

次にスケートリンクについて
は、町内では、島津球場と東中
小学校グラウンド2か所に設置し
てきましたが、近年雪不足から
造成できない年度があったり、
暖冬で利用期間が少ないことや、
市街地区の学校では、スキー授
業を取り入れていること、一般
もスキーに親しむ方々が多く、
スケートリンクの利用者がほと
んどない状態になっています。

本年3月スケート連盟等と協議
し、スポーツ振興審議会に諮り
意見を求め、来シーズンからは、
学校でも授業にスケートを取り
入れ、利用者の多い東中地区1
か所に集中し、規模を拡大し、
利用の促進を図って参ります。

スケート教室、講習会等の実
施については、スケート連盟の
協力を得て例年実施しているこ
ろですが、残念ながら参加者
が少ない状況にあります。今
後も利用者増加に向けて努力し
て参りたい。

再質問

①流雪溝の計画促進について土
現との話し合いの内容につい
て説明願いたい。

我が町の流雪溝事業費の概算
費用はいくらか伺いたい。

町長は前向きに進めると答弁
したが調査費を計上して取り
組むべきと思うがどうか。

②基地対策について、自衛隊協
力会は現在すでにあるもので
あるが、それ以外に専門機関
として基地協議会のような調
整機関をつくる考えはないか。
地元駐屯地の増隊、増員につ
いて、今後の対応をどのよう

に考えているか。

③青少年健全育成とスポーツ少
年団に対して財政支援をどう
考えているか。

④富原テニススコートの夜間照明
の早期実現の計画について。

町長①流雪溝は水の入口、出口
の完備が必要であり、栄町、コ
ルコニウシユベツ川の改修をふ
まえ、土現と話し合いながら整
備を進めるべく検討中である。
事業費については14億15億円
が見込まれるものと思う。
調査費等については、道道で
ある関係上、道及び関係機関に
対して運動を展開したい。

江花通りの改良計画もあるこ
とから、これらとからめて実現
できないか模索してみたい。

②自衛隊との協調体制について
は、今年度から行政と自衛隊と
の調整を強化すべく定期の連絡
会議の実施にふみ出したところ
であり、情報交換を密にして共
に栄ある町づくりを努力をした
い。

増隊、増員については、本町
は増隊、増員の方向にあり喜ば
しい限りであり今後も交流を密
にして行政としてできる限り

の支援を続けたい。

③本町はスポーツ人口も多くス
ポーツ施設には意を尽くしてい
るところであり、本年度は、武
道館、プール等の充実の上に満
足のいける施設充実に向けて努
力する。

教育長③スポーツ少年団等に対
する財政的補助は、他の町村と

比較して特に少ないとは思われ
ないところであり、スポーツの
種目によっては、ある程度の自己
負担もやむを得ないと思われる。

④テニススコートの照明等は、実
施計画年度の違いや、実施過程
の段階で不便な部分もあるが今
後の総合的な施設整備のうえで
調整し、照明の設置を進める。

開基100年記念事業、 職員研修と新規採用の問題



議員 佐藤

開基100年記念事業について

問 平成9年に迎えようとして
いる開基100年記念事業の意義を
明確にし、その内容を町民に明
らかにするため、プロジェクト
チームの取り組み状況や、実施
しようとする事業内容を明確に
していただきたい。

答 本年度において、町史編纂に
ついては、全一卷、1千300ペー
ジ程度の目標も示されて、完成
に期待するものであります。そ
の他の事業については断片的に
は出ていますが、全ぼうについ
てはまだ不明確であります。

この100年記念事業は、先人を
たたえる事業や、後世に引き継
ぐ事業のほか、新たに未来への
希望に満ちた町づくりの出発点
にもならねばならない大きな事
業であると思います。そのため
には、行政の計画立案が優先する

ことなく、町民の意向を十分反映させて、町民一人ひとりに積極的に参加をいただき、新しい上富良野町の芽吹きと、町を愛する情熱を醸し出させるような計画が必要と考えられるので町として、一日も早く、その内容を打ち出し、町民へその趣旨の徹底を図るべきと考えるが町長の所信をお聞きしたい。

町長 開基100年記念事業計画の取り組みにつきましては、現在庁内プロジェクト委員会と4つの専門部会を設け、素案づくりに向け、模索しているところであります。また具体的な事業内容の方向づけには至っていないため、計画推進幹事会の記念事業に対する基本指針を受けて住民意向調査の方法、内容の検討を行い、町民の声を十分聞き計画素案づくりを急がせる考えであり、素案ができしだい、幹事会と町民各層で構成する100人委員会により意見集約、調整を持ちながら、最終的な計画原案を上部推進委員会に上申し、策定して参りたい。

本年度中に基金の創設など財政措置を講じるとともに、事業



職員の研修は言うまでもなく！

計画の概要を町民の皆さんに明らかにし、町民あげての記念事業となるよう推進したい。

職員の研修と新規採用の基本姿勢について

問 行政として強じんな町の骨格を育てるためには、柔軟な行政運営の課題のひとつとして、人事管理の適正化が挙げられます。人事管理については、職員の適性をのばし、行政能力を向上し、組織としての活性化の推進が重要課題であると思うので、職員の資質を向上するため、職員研修のあり方をどのようにふ

まえていくか伺いたい。

また、職員の新規採用は、将来の行政組織の成否を問うものであるため、参考のために、過去10年の採用者の学歴、今後5年間の新規採用予定数を伺いたい。

次に高学歴時代を迎え、応募者の中には大卒者等、高学歴者や技術の豊富な人材など多様な応募者もあると思うが、これらの採用について町長の基本的な考えを示していただきたい。

町長 国際化への進展、高度情報化や、高齢化社会へと移行し

つつ、国民の生活目標や、ライフスタイルもしだいに変化しています。こうした背景のもと住民ニーズの多様化によって、地方自治行政を取りまく諸情勢も大きく変化しています。行政がこの変化に柔軟、かつ、的確に対応していくためには職員研修をいかに進めていくかが、その

かぎを握っていると云えます。本町の職員研修については昨年度から派遣研修を行い、道と職員交流を実施し、また、国内や海外派遣研修も実施しているところです。

研修体系においては、いずれも職場外での研修が主体であり、また、今後においては職場内研修にも目を向ける必要を感じています。

今後においては職場内研修の機会を持ち、独自研修や、適切な外部講師を招くなど、効果的研修を進めることで計画し、職員の資質向上に努めたい。

過去10年間の学歴別人員は、全体で95名を採用し、大卒者15名、短大卒29名、高卒者51名、今後5年間の新規採用予定数は定年退職の補充として14名が予

定されるところである。

次に短大及び大卒者採用に対する考え方であるが、現在上川支庁管内町村会において管内統一で試験を実施し、第一次合格者の中から志望先の町村で第二次面接試験を実施し採用者を決定している。その募集においては広く人材を得る目的で、高卒から大卒まで募集を図り高卒、大卒の区分で採用しているものではない。

本町においても、基本的には高卒、大卒の区分によらず、その志望者が優秀な人材であるかを判断し採用している実態であるので理解されたい。

再質問

①100年記念事業内容の意志決定に当たって、内容によっては既に決定されているような事項も上がってくるが、議会との調整、行政組織内の意志統一のあり方など問題もあると思うが、町長の考えを伺いたい。

②職員の研修については、その重要性を認識されて理解をいただきましたが、最近における研修の実績と、今後の計画

について伺いたい。

③職員の新規採用について、特に大卒者採用について、長期的な見通しに立った町長の見解を伺いたい。

町長 ①100年記念事業内容であるが、ハード面、ソフト面の事業に分けて考え、ハードな事業としては町の財政計画も伴うだけに行政主導型になると判断しており十勝岳、吹上地区の開発を提案したところである。

ソフト事業としては三重県との交流、カナダとの国際交流も考えているが、管内、周辺町村でも100年記念事業への取り組み

があるのでそれらもふまえて体制作りを進めたい、町民の意志を十分とり入れて上富良野町にふさわしい事業にしたい。

③職員の大卒者採用については、将来の見通し等を頭に入れながら厳正な試験を実施し、公正な人選をしているので、その辺でご理解をいただきたい。

総務課長 ②職場研修については、職場外研修を年間12、13名の研修を実施している。

職場内の研修については、過去においては実施した経過もあるが、最近の継続した実績はないが今後は計画的に実施したい。

町長が提唱されている「町民参加の町づくり」をどのよう

「町民参加のまちづくり」

商店街活性化

日の出公園管理問題

のように



議員 倉本

「町民参加のまちづくり」をど

問 町長は重点施策の一つに「町民参加の町づくり」を掲げているが、現在多くの自治体が町づくり事業に取り組んでいる中で、特にソフト面での住民参加が注目される。その一例としてある

町では、開町50年記念史発刊に当たって「未来の我が町・新しい町づくり」をテーマに、児童生徒や一般町民から作品を募集したり、毎年「町長に手紙を出す運動」として全戸に往復ハガキを配り、広く町民の意見を求めるなどで、町づくりを成果をもたらし「民意反映の行政・我が町の自慢」という町民の声が道新で紹介されていたが、このように町民が堂々と自分の町を誇れると言うことは素晴らしい事であり、まさに「町民参加の町づくり」と言えるのではないかと

町長が提唱されている「町民参加の町づくり」をどのよう

考えておられるのか。

町長 町づくりを進めていくうえで、常に町民が主人公であり、住民、地域共同体、行政がそれぞれ役割を分担し連携し、力を合わせていくことが重要と考えている。これまで、住民会長

議や各種会合、また住民会からの要請で行政懇談会を開き、ご意見ご提言を賜っているところですが、これからの予定として「町長への手紙」を通して、町民皆さんからより広く意見や提

言を賜り、「21世紀にむけた町づくり」に反映させて参りたいと考えている。

は

商店街活性化事業の推進状況

問 長年の懸案事業とされている中で、平成4年に「商店街活性化構想」が策定され、町はその計画達成に向けて積極的な指導協力をするとしてきたが、本年度に至って、基本方針を変更し推進活動を展開することになったと言っているが、現在どのような状況にあるのか、また町としてどう対応して行くのか。

町長 商店街活性化事業につい



訪れる人々を迎える日の出公園入口
(清潔を保つにはマナーと管理が!)

ては平成元年度から「商店街活性化推進委員会」を中心に鋭意取り組まれています。基本構想についても、経済行為が伴うだけに、全町的にまとめ上げることは極めて困難なことから、新たな基本方針をまとめ、現在中央、中町商店街が「商店街活性化推進組合」を設立し努力されている。推進活動に対しては従来どおり積極的な指導と協力を

して参りたい。

日の出公園エントラゾーン

の維持管理は

問 日の出公園エントラゾーンに設置しているジャブジャブ

9

池は、子供達が水に親しみながら、親子や家族で憩える場としての利用が図られているが、「噴水の池の水が濁って臭もするが大丈夫なのか」と言う町民からの指摘があり、実際に私が目にしたところでも、好ましい環境と言えず状況ではなかった。真夏に向かつて気温の上昇とともに細菌の発生等も心配され、より行き届いた管理が必要と思うがどのように対応されるのか。

また、このエントラズゾーンは「ラベンダーの町かみふらの」の玄関口でもあり、多くの観光客や、常時訪れる町民、子供達にとっても、公衆トイレの設置が望まれるが、お考えを伺いたい。

町長 日の出公園の管理については常時2名、夜間10時まででは1名で、公園内の清掃、草刈、キャンプ場の安全管理などを行っている。おたずねのジャブジャブ池は上水道の水を循環して使用しており、7日から10日前後のローテーションで清掃、水の取り替えをしている。これからのシーズンは5日から7日位の間隔で行うが、利用者も多くなり、衛生面のこともあるので、

今後濾過装置の設置など十分検討し、快適で安全な施設の維持管理に努めて参りたい。

また、駐車場附近に公衆トイレを設置してはどうかとのことですが、近年町民及び観光客の入り込みが増加しており、その必要性は十分認識しているが、財政的なこともあり、次年度以降に事業計画を検討して参りたい。

再質問

町長 は多くの会合や行事を通して幅広い年齢層に接する機会があるのだから、「町長への手紙なり電話なり」で直接言葉かけられてはどうか。まず受け皿づくりが必要と思うが町長の考えは。

町長 町民の声を広く求める方法を今後できるだけその機会を作るよう努力します。

再質問

「商店街活性化推進支援事務局」の構成と支援体制は。

町長 商工会長、副会長、事務局長、行政より商工観光、企画・都市計画の関係する各課の担当者で構成しており、現在中町、中央で準備委員会を作り計画を進めているので、町づくり、商

工振興の中で支援していく。

再質問

日の出公園の管理は広範囲であり、2名体制では池の清掃等十分に行き届かない面も考えられるが、定期的に清掃員を雇う

ことなども考えているか。

町長 現状を具体的に確認したうえで対応を考え、利用者のモラルの指導等も必要と思うので、それも含めて取り組んで参りたい。

上小、西小の通学区域、西小学校改修に伴う問題



中川 議員

西小学校通学区域の見直しについて

問 西小学校が新設統合校として開校以来約30年が経過し、その間に町人口の減少、幼児、児童及び生徒の減少、町の人口分布の変化により30年前では想像もできない変革をしております。特に西小学校区域は農家世帯が多く、児童、生徒数の減少が著しく、西小学校改修の時期に当たって学校規模の維持、バラン

スのとれた学校配置等を考慮して西小、上小の通学区域の見直しを検討してはどうか。

教育長 通学区域の線引は、人口分布、学校配置のバランスや児童生徒の通学距離などを勘案し、地域の実態に応じて決定するものであり、通学区域の見直しは、地域の意向や経緯もあり慎重を要するものと考えている。

西小学校では一学年39名の学級があり、いまままでより窮屈な学級経営であり、この点に問題があると思いますが、学校の実態は私も十分心配しているところですが、年度により児童数の増減や異動等による影響もあるところから通学区域の見直し

は、早急には難しいものがあり今後の地域の状況や人口動態を見て検討すべきものと考えている。

西小学校改修前の改装予定について

問 行政視察では、西小は改修前であるので修繕等は最小限にしたいとの答弁であったが改修予定の遅れが予想されることから早急に思いきった補修をしなければならぬと思うが、教育長の考えをお聞かせ願いたい。

教育長 西小学校の整備については、建築以来27年が経過し、破損汚損が著しく、その整備をする必要がありますが、この整備については防衛施設庁の騒音防止対策事業の採択を受け、改修事業で実施すべく本年5月に



(改修の前に修繕が待たれる西小学校)

吹上地区の整備計画と 開基100年、西小改造、福祉問題



米 沢 議 員

吹上地区整備について

問 白銀荘地域の整備事業の変更に計画が示されたが、問題点が多過ぎると考える。その理由は、今急がなければならない事業(福祉計画の充実、保育料や国民健康保険税の引下げ、ゴミ処理対

策の推進)など、住民が切望している要求を置き去りにした町の姿勢は許せない。更に、施設の利用見込数を始めとした管理運営についても疑問があり、事業計画全体に不十分さがあるので、計画の全面的な見直しを求めるとともに、その計画を進めようとする町長の政治姿勢は、納得できないので答弁願いたい。

町長 十勝岳地区の観光開発は、幸い国立公園計画の見直しにより、吹上地区を中心とした開発

展望が開け、環境庁、林野庁の許可、財政計画、施設利用計画、管理運営等総合的な見地から検討し、開発基本計画のもとに開基百年にオープンするよう議会の意見を十分拝聴して、実施段階に移して参りたい。

開基百年事業計画について

問 開基百年事業の計画案が示され、その中に町民の意見を聞いて事業計画を推進したいと述べているが、すでに吹上地区の整備が記念事業の柱として位置付けられているのに、町民の声を集約するということになるのか。さらに、町民の声を集約するというのであれば、何々団体の代表の古い枠組みにとどまることなく、幅広く住民との対話集会を設けるなどの工夫をこらして、町民の総意で町の将来を築く一歩とすべき考えるが、町長の姿勢を伺いたい。

町長 さきほど、松井、佐藤議員にお答えしたとおり、多くの町民の意向をくみとり、事業計画に反映して参ります。

意見集約の方法として、ハー



一人暮らしの老人が楽しみにしている給食サービス
(月1回、社会福祉協議会が行っている)

ドの部分については、財政負担の問題もあり、ある程度行政側から方向付けを示すこともやむを得ないのではないかと考えている。その他については、積極的に意向調査を行う。

ろうあ者に対するフアクシミ

町の設置について

問 ろうあ者の方が、日常的に自分の意志を相手に伝える手段として、手話かフアクシミを用いているが、町においても、フアクシミの設置時や設置後における補助制度を検討すべきと考えるが、その決意があるか伺いたい。

町長 町には、数名対象者がお

りますので、今後対象者に周知を図って参りたい。

給食サービスについて

問 国は、高齢化社会危機論を宣伝しているが、現在も将来も働き手一人当たり二人の割合で総人口を支える姿は変わらない。

町は、月一回の一人暮らしのお年寄りを対象とした給食サービスを実施しているが、その一方で、老夫婦の世帯も対象にしてほしいとの声があるが、給食サービスの対象枠を見直すべきと思うが、どう考えるか。

町長 当面は、回数の増加とか、

平成7年度実施設計の採択の概算要求を行うため申請したが、札幌防衛施設局のヒヤリング段階で、後年度以降の予算確保の見直しから新規事業の採択はできないとのことで、計画年度の見直しから数年遅れが想定されますので、今まで最小限度の補修で我慢して来たことから内外装がかなりいたんでおりますので学校経営に支障のないよう大

規模な補修も必要と考えるので、現地を細部調査のうえ対応して参りたい。

再質問

西小学校改造計画の遅れが確

実になったので、改装計画について、九月補正か、来年度になるのか伺いたい。

教育長 本年度は無理かと思われるので平成七年度に向けて検討したい。

町長 本年度は無理かと思われるので平成七年度に向けて検討したい。

町長 当面は、回数の増加とか、

地区割などをして、一人暮らし老人第一課題とし、次の課題として老人世帯の人も対象とするよう検討していきたい。

上富良野西小学校の改造について

問 上富良野西小学校の改造計画の予算が、見送られた理由は何か。事業予算を早急に採択してもらおうよう積極的に関係機関に働きかけると同時に、明年度以降の改善計画の見通しを明らかにすべきである。また、狭い教室を解消してほしいという父母や教育現場の生の声がある。①通学区の変更。②学級編成基準の見直しについて関係機関に働きかけること。③全面的な改築を行うなど。の改善策を早急に講ずべきと考えるが、教育長の姿勢について伺いたい。
教育長 上富良野西小学校の当面の問題については、中川議員の質問に答えたとおりですが、①通学区の見直しは、児童数確保のみの見直しではなく、長期展望に立っての課題と考えている。②一学級当たりの定数減については、私どもも望むところであり、従来から要望してき

た経緯もあり、今後もあらゆる機会を通して要望して参りたい。
交通安全対策について
問 駅前5丁目通りと西2条通学路との交差点は交通量も多く、児童にとっては、危険な通学路となっているので、信号機の設置などを行うべきである。

同時に、南2条通りと道々上富良野・旭中富良野線が交差する曲がり角も交通事故を未然に防ぐ対策を関係機関に働きかけるべきと考えるが、町長の姿勢を伺いたい。

町長 交通事故については、深刻な事態として厳しく受けとめ、現在、信号機、横断歩道、スクーリングゾーン、一時停止等を公安委員会に要請しており、道々については、道路管理者である北海道に、歩道、防護柵等の設置、カーブの改良など改善について要望して参りたい。

国民健康保険税の引下げについて

問 町は昨年、国民健康保険税の限度額を4万円引上げて50万円にしたことで国民健康保険加入者の負担が重くなった現状を認識し、国民健康保険加入者の

負担を軽くするためにも国民健康保険税の引下げを直ちに行うべきと考えるが、町長にその決意があるか伺いたい。

町長 税額の引下げ、納期回数増については、現行のままでも実施して参りたい。
再質問
①吹上地区整備については、本



交通事故防止は町民の願い!

国民健康保険加入者の立場からでなく、町の都合からできないといっているが、考えはどうか。

③百年記念事業で柱となるハードな部分は、行政側から方向付けをするとなれば、町民からの声を受けとめる余地がないと思われるが、町民参加の

枠を広げてはどうか。
④西小の改築は難しいというが、現状の不便さを整理して積極的に取り組む必要があると思うが今後の方向付けはどうか。また、改

築等の年次は、いつ頃になるのか。

町長 ①大きな見直しをする意志はない。今まで提案したとおりの計画を進めていきたい。

②わが町の国民健康保険税額が、特別高額であるとは判断していないので現状の姿で進めたい。

基金の取り崩しについては、極めて慎重でなければならぬので、国民健康保険運営協議会と協議しながら取り組んでいる。

③百年記念事業のハード事業としては、十勝岳吹上地区自然と憩いの森の広場整備事業を中心にすえて実施したい。新たなハード事業は無理と思っている。

町民参加については、百人委員会において、十分町民の声を聞くことを目的にしているので、この委員会を取り組んでいく。
教育長 ④狭い教室、廊下等の不便はあるが、現状の姿で改修を進めていきたい。
改造等の年次については、木造については、比較的早く予算付けも可能であるが、鉄筋コンクリート造りについては、予算措置が遅れることから、4～5年先となる見込みである。

再々質問

吹上地区の開発は、果たして住民の利用度等の問題などが解決されるのか問題がある。計画の縮小が妥当と思うが、全面見直しの意志はないのか。
町長 基本構想にしたがい進めているので、見直しの意志はない。

農業振興施策問題



岡和田 議員

問 第1点に、我町は、水田合理化対策、野菜、畜産、畑作の各振興対策などを幅広く行っているが、農業振興施策の基本を何にする考えなのかお伺いしたい。

第2点に、土づくり対策について、経営規模の拡大によって家畜を飼う複合農家が減ったり、また、層圧事業によって地力が落ちていきます。このためにも土づくりを行って地方の回復を図るべきと考えます。

しかし、昨年までの3か年間行った緑肥作付補助が今年中止されました。特に、畑作には輪作計画が不

可欠であります。今から奨励方策の内容を検討のうえ、農家が意欲を持って土づくりに取り組めるよう奨励すべきと考えますが町長の考えを伺いたい。

肥料作物付促進事業を延べ333戸、458ヘクタール実施しました。また、良質の有機肥料増産のための堆肥盤設置事業は今後も継続して実施して参ります。

緑肥作物の作付促進は、3か

町長 本町の農業振興計画の中では、基本目標として、心土破砕、堆きゅう肥の施用と土壌診断、施肥改善による土づくり対策をはじめとする7項目を掲げて進めていますが、あくまでも、農業の基本は土づくりであります。

年の実績を踏まえて、今後は自立農家育成のためにも、農業者の手によって実施していくことが足腰の強い農業を推進するうえで望ましいと考えています。

再質問

町では、平成3年度から5年度までの3年間地方増強と土壌侵食防止を誘導するための、緑

土づくりを進めるうえで農家が取り組める対策を検討すべきと考えるがどうか

議会傍聴 あれこれ

わたしもひと言



6月定例会では、いしづえ大学の学生の方々が大勢傍聴しました。

日頃、議員活動の姿を見る機会があまりない中で、率直な感想を寄せていただきましたのでその中から紹介いたします。

- 質問の中に日の出公園の管理問題があり、その後に見てみると噴水の流れが清潔で、危険防止等の柵も立てられていました。対応の早さに感心しました。
- 同じ項目の質問がありました。事前に議員間で調整できないものでしょうか。また、議員によって質問の時間の長短があり持ち時間の決まりはないのでしょうか。
- 開基100年の質問は何人かから出されていましたが、歴史的にも意義深く町民が一体となることができるよう期待します。
- 町長さん始め議員さんの熱意ある発言や答弁を聞いて、住みよい町そして老後の生きがいにも心強く感じました。
- 真剣に質疑応答の様子を見て大きな感銘を受けるとともに私達が選んだ町長さん、議員さんは町政のために良く勉強していて安心感がありました。
- 議員の皆さんの質問に対し、町長、教育長、関係課長の答弁も分かりやすく鮮やかでした。

◎9月定例会は9月下旬頃開会予定
議会は公開です。あなたも議会を傍聴してみませんか。



進む農地の区画整理

委員会

レポート

住みよいまちづくりに向けて 総務・教育民生委員会が先進市町を視察

総務常任委員会と教育民生常任委員会では、4月4日から7日までの日程で、道外先進市町を視察しました。

視察地は、総務常任委員会が①行政事務管理、②行政サービスの推進、③町おこし事業の推進について三重県三雲町を。

教育民生常任委員会が①老人福祉対策、②川越町総合センター、③町おこし事業の推進について三重県川越町を。



(三重県津市を視察する当町の委員会)

また両委員会が合同で、津市の概要と津市と本町の交流について三重県津市を訪問しました。視察地の概要、次のとおり。

【三雲町】三雲町は、本道の名付け親で、幕末の探検家・地質学者であった松浦武四郎の生誕の地。周辺市町村の広域行政事業として、歴史ネットワークが

生まれ彼の遺徳を偲び松浦武四郎記念館を建設中であつた。また、広域圏として面積の狭小な町同士が隣あい、

共同で取り組める事業（学校給食、福祉施設、衛生施設、伝染病隔離病舎、競艇、消防など）については互いに力を合わせ財政の効果的運用を図るため一部事務組合で処理されていた。また、河川敷を公園化しカヌーやボートの練習場にする計画を進め

ており、松浦武四郎記念館と結んでラベンダーの花園を造る模索をし、現在農協でラベンダー栽培の研究に取り組んでいた。

【川越町】川越町の高齢者福祉対策は全国的にも注目を集めております。人口の高齢化が進み現在65歳

以上は人口の13%に達しており、これから到来する高齢化社会に対応するため、平成5年10月に保健・医療・福祉の3部門を一

つの建物に集合するために複合施設「総合センター」を建設し、1階は診療所と保健・医療・福祉関係の総合事務所、2階は健康管理センター、3階は老人福祉センターとデイサービスセンターで各施設間は自由に行き来でき、一日を楽しく過ごせるようになっており、まるでホテルのような外観と広々とした館内と充実した設備は利用者に好評とのことであります。

この施設を中心にして、老人給食サービス、デイケア、ショートケア、在宅ケアなど数々の老人福祉対策が実施されておりました。

保健・医療・福祉がひとつにならなければ真の「老人福祉対策」は出来ないという理念のもと本町老人福祉推進の参考となりました。

【津市】津市は明治30年に、本町の開拓の礎となった田中常次郎一行の出身地。本町と津市の歴史的なかわりや踏まえ、これからの交流のあり方や今後の方向性などについて市議会関係者と意見交換がなされ、津市側からも本町との人や物の交流に相互の特性を生かした息の長い交流への大きな期待が示された。

両市町の規模や環境、文化、歴史など条件は異なるが、友好的な交流（青少年、学童の交流など）や、経済団体による経済交流、物流など、民間交流の必要を感じ今後十分検討し前向きに取り組むべきものと思われました。

編集後記

◎議会だより第3号をお届けします。6月定例会、臨時会等の内容を中心に編集しました。

◎ラベンダーの花便りも予定より7日から10日も早く、各地から大勢の人が訪れています。◎今冬は、40年ぶりの大雪でしたが、春以来好天に恵まれ農作物も順調な生育ぶり、喜ばしい限り。大雪の年に作なしとか。昨年の方も含め大きな収穫を期待したいもの。

◎4月26日に札幌市で総会広報の研修会が開かれ、各町村議会から広報を持ち寄って、当日参加70町村全部の講評と指導を受けました。本町も創刊号をもつての出席。めったにほめない講師の口から、まず及第点の講評を得てほっとしたところ。◎今後も、議会の活動状況を、できるだけ正確に、より市民の皆様が親しんでいただける議会だよりとなるよう編集委員一同努力をして参ります。

(編集委員 谷本和一記)